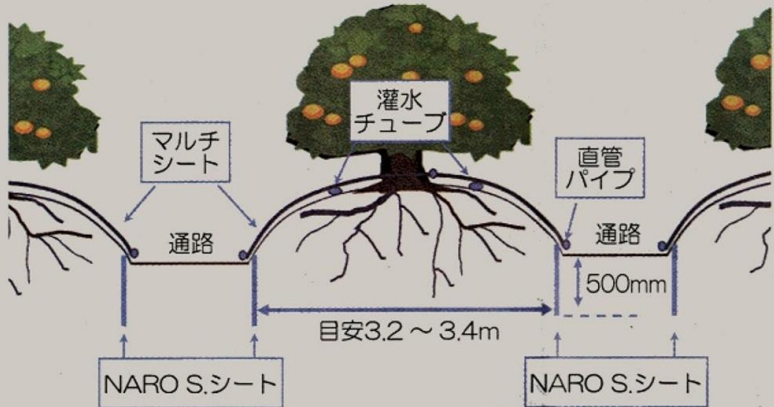


表 S・マルチ栽培「原口早生」の果実品質と経営評価試算

栽培方法	糖度 (Brix%)	酸含量 (g/100ml)	ブランド率 (%)	粗収益 (千円/10a)	経営費 (千円/10a)	所得 (千円/10a)
S・マルチ栽培	13.9	1.07	71.6	746	348	398
慣行マルチ栽培	12.4	0.86	60.2	683	310	373

シールディング・マルチの断面図



ミカン、ブランド率アップ

シールディング・マルチ栽培の利点

ウンシュウミカンでは、安定的に高品質果実を生産するため畝部への雨水流入を遮断するシールディング・マルチ（NARO S・マルチ、以下「S・マルチ」）栽培が開発されている。そこで「原口早生」を用いてS・マルチ栽培の品質向上効果と経営評価について検討した。

収穫時の糖度はS・マルチ栽培が慣行マルチ栽培に比べ1度以上高く、酸含量はS・マルチ栽培が慣行マルチ栽培より約

現場で使える！研究成果

0・2%高くなった。

収穫時のブランド率（%）は、S・マルチ栽培が慣行マルチ栽培に比べ10%程度高くなった。

粗収益は、10a当たり
の出荷量3tで試算すると、S・マルチ栽培が慣行マルチ栽培より6万円程度多かった。経営費はNARO S・シート（商品名「S・シート」）の減価償却費がかかり、慣行マルチ栽培より高かったが、所得はS・マルチ栽培が慣行マルチ栽培に比べ、2・5万円程度増加した。

なお、試験圃場でのS・マルチの施工は2023年6月に行い、農研機

構発行の「カンキツにおけるシールディング・マルチ栽培（S・マルチ）の技術マニュアル」に基づき施工した。

マニユアルは二次元コードからご覧いただけます。



（県農林技術開発センター 果樹・茶研究部門 中里一郎）